

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	雨水施設維持管理事業			会計	款	項	目	大事	小事
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	下水道建設課					
施策	1-6	安全性と快適性を兼ね備えた河川・排水路整備	主管課長	浅川 晃					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	公共下水道（雨水）施設利用者	意図	<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道（雨水施設）の適切な機能を維持する。 調整池排水施設の適切な保持・管理を行い、治水安全を確保する。
事業内容	草刈、水路浚渫等清掃、動態観測、小破修繕等施設の維持管理業務委託を実施し、良好な住環境を維持する。			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度に河川課より施設を引き継ぎ、調整池等の維持管理を行っている。施設の維持管理委託業務に関する基本協定書を河川課と締結（以降、年度協定）し、当該事業の業務委託をしている。 近年は、ゲリラ豪雨が多発していることから、調整池の稼働が増えている。 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	草刈業務委託	5,994,000	9,403,668	9,329,580	円	→→	
②	水路浚渫・清掃業務委託	3,607,394	1,237,940	3,349,610	円	→→		
③	動態観測業務委託		691,200	702,000	円	→→		
④	小破修繕工事		1,921,908	235,116	円	→→		
⑤					円			
⑥					円			
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		16,011,506	15,547,860	15,897,450				
事業費(b)(円)		15,325,006	14,876,660	15,238,250				
うち一般財源		15,325,006	14,876,660	15,238,250				
職員給与費(c)(円)		686,500	671,200	659,200				
人役・職員(人)		0.10	0.10	0.10				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	河川課と協議を実施し、委託内容について確認を行う。	③取組における課題(Check)	平成31年度から、河川課から下水道建設課にて管理業務を引継ぐにあたり、現状のまま継続するべきか今後見直しを検討する。
②H30に実施した取組(Do)	平成31年度から河川課に委託している業務内容については、全て下水道建設課が業務の発注及び現場管理を行うこととした。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	公共下水道（雨水）施設の管理体制・状況の整理を行う。また、ポンプ設備等の老朽化による故障に備え修繕計画を作成する必要がある。